# ま　え　が　き

## ●全ビジネスパースンに役立つ日本の「経理・財務」中の『財務会計＜基本＞』の本です

本書は，すべてのビジネスパーソンが経営の中でマスターするべき「経理・財務」＜基本＞の中の財務会計＝フィナンシャル・アカウンティングをわかりやすく，やさしく解き明かしました。

すなわち，実務の財務会計（フィナンシャル・アカウンティング）の考え方，対応・処理方法，他部門との協力関係などについて述べました。

現代の日本企業経営の中の経理・財務の実力は世界一です。この「経理・財務」の中の企業会計（財務会計・経営会計）から，本書では，「日本の財務会計」を抽出しました。

私の造語である「経理・財務」という鏡には，世界経済・金融，日本経済・金融，企業経営の状況と結果が映し出されます。厳しい経済・金融環境の中で生き抜くビジネスパーソンには，幅広い視野と教養に裏打ちされた優れた実務処理力が要求されています。本書では，日本企業経営の中の「経理・財務」＜基本＞の生きた「財務会計」実務を学んでいただきたいと思います。

## ●基礎から入り，財務会計のエンピリカル・ナレッジ（＝体験知識：empirical　knowledge）を学べます

この本には，２つの大きな特徴があります。

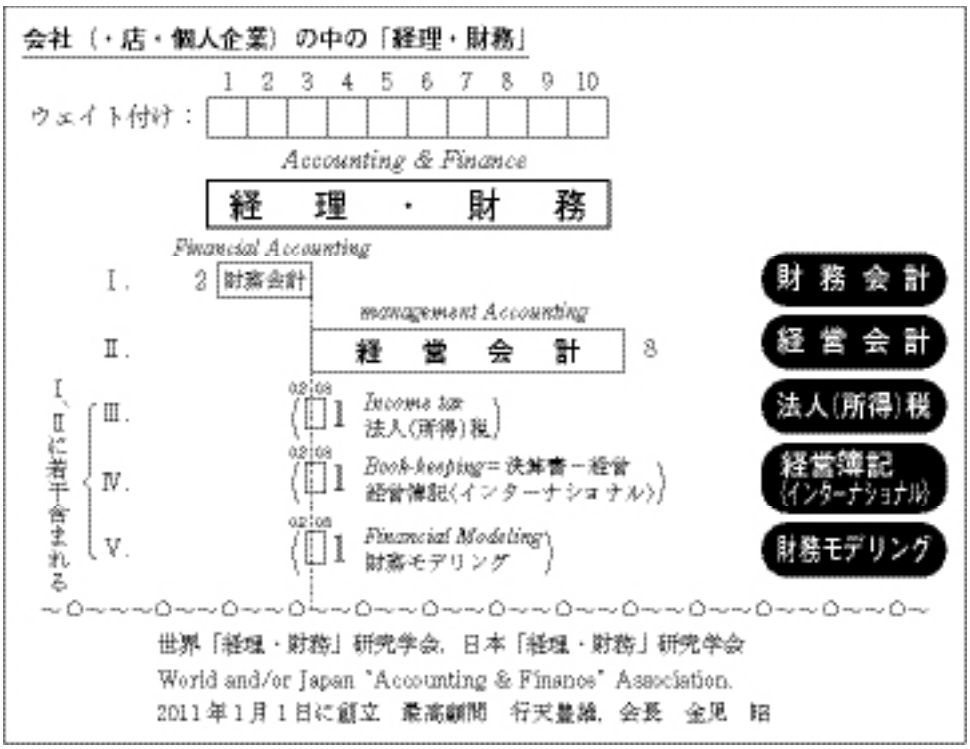
第１には，基礎的な「財務会計」の実務がわかることです。貸借対照表・損益計算所・キャシュッフロー計算書・株主資本等変動計算書（純資産の「残減増残」）などの財務諸表の作り方や見方も見ていきます。しかし，それだけでは日本の経理・財務をマスターしたとはいえません。第２に，より大切なことは，会社の売上，利益・キャッシュ，純資産（資本），などの向上，すなわち，業績と企業価値の向上に役立つことです。この目標に向かって，会社の仕事にはどんなものがあり，それにどう取り組めばよいか，また，実際にどう取り組んでいるかを簡潔に，わかりやすく述べました。

## ●経営簿記＜基本＞は，「残増減残」と「科目の四マス」

「経営簿記」（インターナショナル）の通奏低音は，私の商標登録の「残増減残」と「科目の四マス」です（46頁と47頁をご参照ください）。

この２つの通奏低音を意識しながら，現代のビジネスパーソンが直面している，社会の物事，会社現場を学ぶことをおすすめします。なお，「残増減残」を英語では，Begining Balance（EB），Increase（I），Decrease（D），Ending Balance（EB）です。

「科目の四マス」は，Quartersで，四マスの二マスの左，右が増・減（例えば，現金科目では左が増，右が減），すなわち，経営実行そのものです。




## ●『World and/or"Accounting & Finance"Association』という研究学会を，2011年１月１日に創立しました。

「経理・財務」は，1989年の私の造語ですが，2011年１月１日に，世界「経理・財務」研究学会と日本「経理・財務」研究学会（World and/or"Accounting & Finance" Association）を創立しました。

私は，38年間の「経理・財務」の実務体験の知識（empirical knowlege）から，会社・店・個人企業（会社等）が守るべき『「経理・財務」原則』は，会社等自身の中の実務歴史の中から抽出するべきである，と考えてきました。そこへ21世紀に入って経済産業省からお話しがあって，「経理・財務スキル・スタンダード」が作成され，約10年が経ちました。そこで，

① 会社等のトップから一般社員の人たちの誰もが，
② １円のお金も，１秒の時間も使わずに，
③ 「経理・財務」を自由に学んだり考えたりしたい（研究したい）契機を作り，
④ 現代（いま），世界に誇れる日本の「経理・財務」を世界の人々と共有し，
⑤ 日本中・世界中の人たちの幸せに役立つ「経理・財務」

を目指してきました。

## ●「経理・財務」は，人間が幸せになるためにあります。

いま，世界中が，「グローバル」「インターナショナル」「アメリカン」などの財務会計（Financial Accounting）に振り回され，企業性悪説に重きを置いた議論を，誰もがしていったらよいと考えています。

それに対し私は企業性善説をもとに，日本中の会社・店・個人企業のエンピリカル・ナレッジ（体験知識）である，戦後60数年の日本の「経理・財務」実務をベースとして，『世界と／または日本の（World and／or Japan）』[経理・財務]（Accounting & Finance）を打ち出しました。

人間の幸せをめざして，日本の「経理・財務」実務を世界に発信したいのですが，研究学会としては，何もしません。１円のお金もかけませんし，１分の時間も使わないのですから。ただ，日本人全体が１人ひとり，日本の会社・店・個人企業の「経理・財務」は，世界に冠たるものであると，自信をもっていただきたいと考えています。

この研究学会の最高顧問に，日本CFO協会理事長の行天豊雄さんが，なってくださいました。副会長は，21世紀に入って経済産業省の「経理・財務サービス・スキル・スタンダード」の研究・普及に無償で尽力してこられた，小畑哲也さん（NTT東日本神奈川支社長），木村幸彦さん（公認会計士），白石学さん（税務研究会・執行役員）です。あと，評議員が10名，事務局※が３名（主幹事は，大坪克行さん（税務経理協会・常務取締役））です。

なお，本書の出版にあたり，日本CFO協会の行天豊雄理事長，谷口宏専務理事，税務経理協会の大坪嘉春社長，大坪克行常務取締役，堀井裕一シニアエデイター，など皆様のご指導をいただきました。深く感謝申し上げます。

平成23年３月

金児（かねこ）　昭（あきら）